

多摩・島しょ地域におけるスポーツを活用した 地域活性化に関する 調査研究結果発表シンポジウムを開催しました!

【平成29年7月6日 調布市文化会館たづくり】

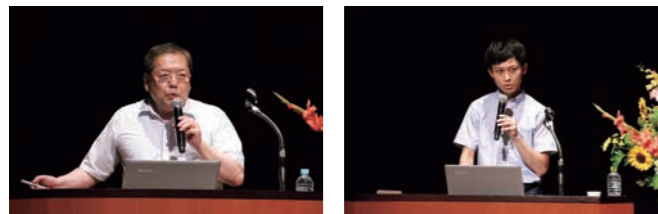
当調査会では毎年度、市町村の自治に関する調査研究を行っています。今回のシンポジウムは、昨年度の調査研究の結果を踏まえ、『多摩・島しょ地域』×『スポーツ』でまちを元気に～スポーツが持つ力とスポーツコミッションの可能性～、と題して開催しました。

(1) 基調講演

はじめに、(一財)日本スポーツコミッション理事長の木田悟氏による基調講演が行われました。講演では、スポーツの役割、スポーツコミッションの位置づけなどについて述べられ、本シンポジウムの内容に係る基本的な考え方を示していただきました。

(2) 調査研究結果発表

続いて、当調査会が平成28年度に実施した調査研究結果について、当調査会の斎藤研究員が発表を行いました。この中では、多摩・島しょ地域自治体におけるスポーツコミッションの認知度や必要性、設置状況などについて触れながら、スポーツコミッション設立に向けた提言を行いました。



▲基調講演(左)と調査研究結果発表(右)の様子

(3) 事例紹介

続いて、スポーツコミッションを具体的にイメージしてもらうことを目的に、実際に取組を行っている組織の活動概要を3名の方にご紹介いただきました。

- ①まず、(一社)志摩スポーツコミッション事務局長の石本直樹氏より、行政との連携の観点で、組織の活動概要をご紹介いただきました。
- ②次に、NPO法人ふじさんスポーツコミッション協会事務局長の酒井修一氏より、広域連携の観点で、組織の活動概要をご紹介いただきました。
- ③最後に、NPO法人地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット理事長の桑田健秀氏より、総合型地域スポーツ

クラブを地域づくりに活用する観点で、組織の活動概要をご紹介いただきました。



▲事例紹介の様子

- ①石本氏(左上)
- ②酒井氏(右上)
- ③桑田氏(左下)

(4) トークセッション

ここまでの講演を踏まえ、スポーツコミッションの設立について考えるべく、NPO法人出雲スポーツ振興21専務理事の白枝淳一氏、宇部市総合政策部文化・スポーツ振興課長青山佳代氏からお話をうかがいました。はじめに各組織に各スポーツコミッションの活動概要をご紹介いただいた後、基調講演を行った木田氏がファシリテーター役となり、トークセッションを行いました。ここでは、組織の設立時の状況、行政との関係、今後の方向性などについて触れながら、設立時は行政の支援が必要な点、そして将来的には財源的に組織が自立をしていく点などについてお話いただきました。



▲トークセッションの様子 白枝氏(左下)、青山氏(右下)

平成28年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.44)で概要を紹介した平成28年度の調査研究報告書のうち、4件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今号では、「基礎自治体における子どもの貧困対策に関する調査研究報告書」を紹介します。

基礎自治体における子どもの貧困対策に関する調査研究報告書

1. 背景・目的

子どもの貧困が大きな社会問題となっています。平成27年度子供・若者白書によると、およそ6人に1人の子どもが平均的な社会水準の半分以下で暮らしているとされています。本調査研究では、多摩・島しょ地域の基礎自治体に取り組む子どもの貧困対策の方向性や具体的な取組内容を提示しました。

2. 子どもの貧困の現状

- ・ 経済的困窮を背景に、「家庭・人間関係、精神面」「生活面」「教育面」の多面的・複合的な課題が発生
- ・ 課題に対して手当てがなされなければ、子どもが乳幼児期、学齢期、青年期とライフステージを追うごとに課題が積み重なり、「貧困の深刻化」へとつながる
- ・ 子どもの貧困の背景には保護者の状況が大きく関わっており、保護者の不利・困難な状況が子どもに受け継がれる「貧困の連鎖」も大きな問題

3. 多摩・島しょ地域における子どもの貧困対策の現状

- ・ 39自治体のうち、約5割が子どもの貧困対策に関する施策・事業を実施
- ・ 今後は、約8割が子どもの貧困対策を推進する方向性

4. 現場関係者から見た子どもの貧困

- ・ 約半数が、職場で実際に貧困の状況にある(あると思われる)子どもを把握
- ・ 子どもの支援を行う上での有効策としては、行政や地域との連携が最多

5. 多摩・島しょ地域における子どもの貧困対策

- ・ 子どもの貧困を本人や家庭の問題ではなく、地域づくりや社会的コスト削減などの観点から、社会全体の問題としてとらえる
- ・ 子どもが困難な状況を乗り越える力を育むために、地域による取組が重要。基礎自治体は、地域に一番身近な行政として、地域の活動や資源を対策につなげるコーディネーター役を担う
- ・ 子どもの貧困の多面的・複合的な課題を見据え、様々な施策分野が連携し総合的な取組を行う



「貧困の深刻化」に対する対策のイメージ

